

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 3月 29日

事業所名 放課後等デイサービス はなという

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		収納式カウンターや必要に応じ個室ができる仕切りを整備	施設基準は満たしているが、児童によっては狭く感じていると思う。平成31年8月開設予定で、新しい事業場の建設を進めている
	2	職員の配置数は適切である	○				配置基準に基づき行っている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				配置基準に基づき行っている
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				事業所玄関に掲示している。HPへの公開は平成31年4月より開始する（準備中）
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		他の障害福祉サービス事業所等へ当事業所の評価を依頼し改善点の把握に努める
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				他の事業所とケース検討会等を実施している。もっと回数を増やせるように計画する
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			現在はJSI-R(感覚検査)のみを必要に応じ実施している。今後は適応行動尺度等の活用を検討いたします。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					医療ケア児の対応は行っていない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			保育園、こども園からの利用の際には、相談支援員を通じ情報聴取している。今後は、利用前に保育園等に赴き縦断的なフォローが行えるよう改善していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				同法人が運営する事業所への移行時は、情報提供は行っている。今後は他の事業所への移行が増えるため対応できるように準備を行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			夏季休暇時に、地元の小中学校からのボランティア活動を受け入れる際に交流を持っている
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○				杵藤地区自立支援協議会（児童部会）へ参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			ペアレントトレーニングなどの確立した手法は用いていないが、保護者からの困りごとに関しては、専門職より家庭での取り組み方などを提案している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○			保護者向けのアンケートにて説明が不足している方がいらっした。再度説明が必要かをお尋ねし、適宜説明を行うよう改善していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○			お迎え時、送迎時に極力お話をしたいと思っているが、十分とは言えない。電話などでも気軽に相談できるような体制作りを検討していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		保護者会の立ち上げ。母子参加型のイベント等を来年度中に行えるよう計画します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				事業所内(管理者)、白石町障害福祉課、佐賀県社会福祉協議会内に苦情問い合わせ窓口を設置していることを説明している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				はなというニュース1回/2ヵ月、法人の機関誌2回/年を発行している
	35	個人情報に十分注意している	○				施錠付きキャビネットに保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				必要に応じ、客観的数値(摂取カロリー等)で表した連絡帳等を活用している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				平成30年7月16日に地域住民、利用者向けに「蓮の実祭り」を開催した
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○			防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを31年度に策定する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				毎年2月(災害を想定した避難訓練)、毎年7月(火災を想定した通報避難訓練)を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				虐待防止研修会へ職員派遣している。また虐待防止委員会の組織作りをしている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			現在のところ対象となる利用児はいないが、やむを得ず身体拘束を行わなければならない時には、当法人の虐待防止委員会にも報告、協議した上で保護者への説明と同意を得るようにする
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				アレルギーが疑われる児童に対しては、お弁当(おやつ)の持参をお願いしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				事業所内にて再発防止会議を行い、さらに法人全体に回覧し意見を募っている